



# かけはし

## 「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動 20周年記念号

20年間活動を見守って頂いた中村先生・当初より活動を進めている元PTA会長さん・学び支援係長からこれまでの経緯と今後の思いを語って頂きました。

### 葛飾区民が切り開いてきた子育ての文化に自覚と誇りを

千葉大学名誉教授 中村 攻



大阪池田小学校の児童殺傷事件（1997年）に前後して、子ども達が痛ましい事件の犠牲になる事件が多発し、“子ども達を如何にして犯罪から守るか”という事が社会全体の大きな課題となった。全国で様々な取り組みが展開された。その中でも、ここ葛飾は些か特異な取り組みを展開した。幾つかの特徴を挙げてみる。1つは、子ども達から犯罪にあった状況を調査し、これを基礎にして、対策を考えた事である。全国の彼方此方で安全パトロールが展開されたが、子ども達が地域の何処でどんな被害に遭っているのかも分からず展開するのでは、確信や展望が持てるものではない。葛飾では、先ず、子ども達から犯罪被害の実態を調査して、地域の何処でどんな被害に遭っているのかを、教わる事にした。科学的実態に基づいて、実効のある対策を考えようとしたのである。2つ目は、活動全体を通して、人権やプライバシーに注意した、特に、被害児童については当然の事として十分な注意を払う必要がある。3つ目は、子ども達への安全教育（例えば、教室での安全マップ）を取り組みの中心にせず、大人の責任で子ども達の地域環境を安全にしていく事を中心に置いた。――子ども達は本来“安全にして自由に伸び伸びと生活する権利を持っており、大人社会はそれを実現していく義務がある”と考えたからである。こうした活動の特徴は、「安全マップ」等、自分の身は自分で守る子ども達の教育に多くの期待をかける国や東京都等の関係機関には初めは理解されなかった。23区の中でも葛飾だけが我が道を行くという状況できつい状況もあったが、やがて東京都等でも典型的な取り組みとして顕彰するに至っている。（詳しくは、「子どもたちを犯罪から守るまちづくり――東京・葛飾からのレポート」晶文社）。

まちづくりの活動は10年一区切りと言われる。10年続けて振り返る時、そこにやっと足跡を確認する事ができ、1・2年で成果が確認できるものではない。葛飾の活動も20年、振り返る時、そこにしっかりと足跡を確認できる。例示すれば、1つは、地域の危険個所が明らかになり、具体的に改善された。例えば、公園のトイレでは落書きが消され安全センサーが設置された。遊具やベンチが子ども達も参加してペンキが塗り替えられ、花壇や街灯が設置された。暗くて狭い道路が改善され、横断歩道橋を渡る子供の姿が道路か

ら分かるように不透明の材質から半透明に変えた。放置されていた空き家を大家さんの協力で解体させた。街の彼方此方で管理が放棄されていた植栽の剪定を進めた。2つは、この活動に取り組んだ保護者が子どもの卒業後も「子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会」を組織し、現役の保護者の活動を支えて、活動を継続させている。3つは、各学校が毎年足並みをそろえて取り組むことで、各学校がお互いが刺激し合い影響し合って進めていく体制が出来上がってきている。4つ目は長い活動の中で、住民と行政や警察等との信頼と協力体制ができてきている。特に、生涯学習課とはしっかりと信頼・協力関係を作り上げてきている等々を挙げる事ができる。

20年の成果の上に、今後の課題を幾つか挙げれば、1つは、この活動が区内の小中学校の7割強で取り組まれているとはいえ、まだ3割の学校では取り組まれている。そこには色々な事情があるが、更に広げていく取り組みが必要である。2つは、昼間に地域の大人の姿が見られない状況を改善していく必要がある。空間がいくら改善されても、大人の姿が見えないのでは、そこで生活する子ども達の安全は守れない。特に、昼間、戸外で生活を楽しむお年寄りの姿が見える街を皆でどうやって作り出すか。新しい課題への挑戦が求められている。

葛飾の子ども達を犯罪から守るまちづくりの活動は、子ども達の立場に立って、大人達に安全な地域環境改善への努力を求める活動である。巷に見られる子ども達への安全教育を中心にしたものではない。子ども達が「俺達は地域の大人達によって守られている」「俺達も大人になったら、地域で子ども達を守っていく」——こうして地域の未来を託す大人を育てていく。葛飾の活動は、未来を託す大人を育てていく活動でもある。夢のある、素晴らしい活動ではないか。多くの皆さんの参加を期待したい。

## 私たちの学びと次の10年に向けて

北野小学校学校地域応援団事務局長 沢崎俊之

「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動20周年おめでとうございます！子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会（以下、「推進会」という。）から執筆依頼を受けて、寄稿させていただきます。

活動を開始されてもう20年になるのですね。この20年間、千葉大学名誉教授の中村攻先生をはじめ、葛飾区の町会や青少年育成地区委員会の皆さん、各小中学校のPTA関係の皆さん、青少年委員やOBの皆さん、推進会の皆さん、行政の皆さんほか、様々な人たちの地道な努力が重ねられここまで来たことに敬意を表したいと思います。

私たちがかわったのは、その2年目にあたる平成15年（2003年）からでした。当時私は北野小学校のPTA会長でしたが、北野小学校選出青少年委員の山口芳文さんから「こういう活動があって、10年くらいかかるかと思うけど、どうする？」といわれたのがはじまりでした！

すでにその年の活動申し込みの期日が迫っていたので、“今年度は時間切れで無理かな”と内心思っていたところでしたが、なんと春の運動会が予定されていた当日の朝、雨が降り出して、運動会が順延となってしまったのです。すでにPTA役員は北野小学校に集まっており、今後の対応を話し合いましたが、そこで偶然つくりだされた時間を利用して、この活動について検討する時間を持ちました。そして、熟慮の結果、この活動を北野小学校開校50周年記念事業の1つに位置付けて、取り組むこととなりました。

そしてその年の夏と秋に葛飾区教育委員会生涯学習課と葛飾区青少年委員会調査環境部の皆さんの全面的なバックアップのもと、第1回のアンケート・ワークショップを行い、北野小学校区およびその周辺的环境改善計画を取りまとめることができました（写真1・写真2）。



写真 1

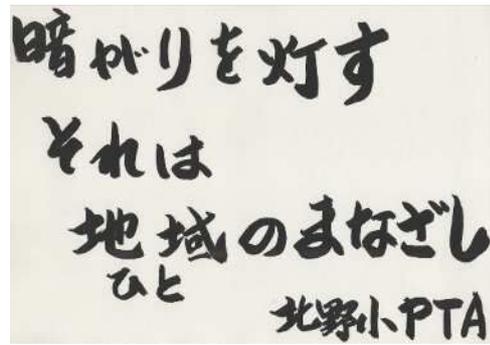


写真 2

そのとき、私がこの活動に魅力を感じたのは以下の2点でした。一つは、「子どもたちの声を聴く」ことから出発しようとする姿勢です。調査用紙の形で子どもたちがどこで、いつ、どんな状況でどのような被害にあっているのか、をプライバシーに十分配慮しながら回収し、書かれている文面から、子どもたちの訴えをしっかりと“聴こう”とする点です。

第2はそれらを受け取った大人の側が、現場に赴き、そこで想像力を働かせ、皆で環境改善案を作り上げるワークショップが組み込まれている点でした。このワークショップには、地域の方々はもちろん、学区外からも多くの皆さんが参加され、体育館で各グループの改善案が次々と発表されたときの感激は忘れられません。

初年度の取り組みでは、そこまでが精一杯で、その後の行政との話し合いをする余力は残っていませんでしたが、気づくと、児童遊園に植えられている木々が剪定されて、隣接する児童館の1階の窓から児童遊園の見通しがよくなっていたりして、私達は驚いたものでした！（写真3及び写真4）



写真 3



写真 4

その後は、10周年を機に出版された「子どもたちを犯罪から守るまちづくり」（中村攻著、晶文社、2012年）や毎年発行される葛飾区教育委員会からの報告書の該当部分を見ていただければよろしいかと思います（ワークショップの様子は写真5・写真6をご覧ください）。

その間、葛飾区立小学校PTA連合会（小P連）の執行部をした年（平成17（2005）年）や青少年委員としてつとめた10年間（平成21（2009）年～30（2018）年）に微力ながら、他の地域の方々と交流し、サポートし合ってきました。

そこで、この活動は“子どもたちのために”ということで始めた活動ですが、環境改善等を考えていく中で、「子どもにやさしいまち」は「大人にとっても住みやすいまち」であることを改めて学びましたし、ホームレスの人たちの生活などの難しい問題にも直面しました。さらに私達大人たちの姿をみている子どもたちが、将来地域を大事にする大人として子どもたちに関わるようになるとういようなあなどとも思っていました。



写真5



写真6

平成23(2011)年3月11日の東日本大震災の翌月、「葛飾教育の日」のスタートとともに、私達は「北野小学校学校地域応援団」を立ち上げ、これまで継続して行ってきた「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動についてはPTAのサポートにまわり、学校地域応援団としては、金町公園花壇の自主管理を通じて、地域の大人の目を増やす「予防的取り組み」に軸足を移して現在に至っています(写真7)。平成23(2011)年当時は学校地域応援団で、「花いっぱいのまちづくり」に取り組む団体はほとんどありませんでしたが、今では、多数の学校地域応援団が児童・生徒を巻き込んだ活動を展開しています。

ただし、この2年間の新型コロナウイルス感染拡大は現在も続いておりますが、これはPTA活動や学校地域応援団の活動に大きな制約を及ぼしています。これは北野小学校に限ったことではありません。もちろん、これは私達の生活や仕事を見直す良い機会とみることもできますが、一方で基本的な人と人とのつながりをも流し去りかねない危機でもあります。

しかしそういう中でこそ、私達はこれまでの歩みから「子どもたちにとって、そしてだれにとっても住みやすいまちづくり」の本質を改めて見つめなおし、今後に生かす必要があり、またそのチャンスなのではないかと思っています。

本記念号の全体がどのようなものなのか、私は知る立場にありませんし、むしろどのような記念号なのかと、読者として楽しみにしている一人ですが、ひとりでも多くの皆さんがこの記念号と“対話”することを通じて、次の10年に向けて「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動がさらに発展することを心より願っています。

成功(succeed)とは、「持続する」という意味である、と言った方がいらっしゃいます。私も、その考えに大変共感します。北野小学校の取り組みも来年で20年を迎えます。この活動を始めるときに山口芳文さんから言われた言葉をかみしめて、次の世代にバトンを渡す準備の期間として、私たちも実践を続けていきたいと思っています。



写真7

# 子どもたちが安心・安全に暮らすことができる地域づくりを目指して

葛飾区教育委員会事務局生涯学習課

学び支援係長 佐藤 吉裕

この活動が葛飾で産声を上げてからもうすぐ四半世紀を迎えようとしています。中村先生の言葉をお借りすれば、PTA や自治町会、青少年育成地区委員会や青少年委員など、地域の多くの大人が作り出した「葛飾区の子どもたちを守る文化」となっていると云えます。

私もこの活動に携わって13年目を迎えました。社会教育主事という専門職として、また行政職員として、地域の多くの方々の暮らしに関わることができ嬉しく思います。

ここ数年はコロナ禍でPTAをはじめ、地域でのさまざまな活動が中止や延期、中断を余儀なくされる中、この活動について学ぶ講座も中止せざるを得ない状況が続きました。そうした中でもいくつかのPTAや青少年育成地区委員会では活動を停滞させることなく今年度取り組みを予定しています。まさに「葛飾の文化」として根付いた証だと感じています。

これからも、中村先生や推進会の皆さんと手を携えながら、子どもたちが安心・安全に暮らすことができる地域づくりを目指して、微力ながらこの活動に関わっていきたいと思います。

## 活動報告

各学校のPTAの皆さんは今回の活動にあたり新型コロナウイルス感染症対策に最善の注意をはらいながら、工夫をして今までとは違うスタイルで活動しました。

### ★東綾瀬小学校

17年ぶりに東綾瀬小学校PTAの皆さんで活動を再開いたしました。令和2年度末にPTA会長からこの活動の取組希望の連絡を受け、PTA役員を対象に活動の詳細について生涯学習課が説明に伺いました。

その際、新PTA会長の下で令和3年度に取組を実施していきたいと申し出があったため、PTAの皆さんにこの活動の趣旨を説明するとともに、アンケート実施に向けて「アンケート説明動画」を観ていただきました。

アンケート集計 令和3年11月19日(金) 14:00～

ワークショップ 令和4年4月16日(土) 13:00～ 参加人数22名

4チーム作成し3箇所を検証しました。

(推進会：嵐田)

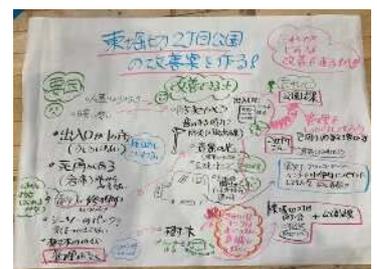
～東綾瀬小PTAからコメントを頂きました～

#### 【令和3年度の活動】

4～6年生を対象にアンケートを取りました。

アンケートの結果から、子どもが危ない思いをした場所を把握し、危険箇所をまとめた地図(犯罪危険地図)を作成しました。

犯罪被害の報告は各学年数件程度でした。アンケートの集計作業では推進会の方々に多大なるサポート



をいただきました。

犯罪危険地図をもとにフィールドワークで重点的に点検する場所を決めました。

### 【令和4年度の活動】

4月16日（土）にワークショップを実施しました。当日までに2回ほど「リーダー会議」を開き事前準備を入念に行なったので、本番はイメージ通りに運営することができました。実際に子どもが危ない思いをした場所を点検し、どうすれば改善できるかを4つのグループに分かれ環境改善計画を作成しました。1グループ5～6人だったので、時間に追われる事なく全員の意見を聞くことができて良かったと思います。

### 【これからの活動に向けて】

ワークショップを踏まえて、具体的な環境改善計画に取り組む予定です。

その中で、地域の方々との繋がりを深め、PTAとして地域の防犯活動に貢献していきます。

（東綾瀬小学校：道家、関口）

## ★奥戸小学校

アンケート集計 令和3年11月13日（日）13：00～

リーダー会議 令和4年6月11日（土）9：30～

6回目のアンケート集計になります。被害件数は13件と減っています。令和4年度になり、PTA組織も新体制でフィールドワークを実施します。

### <今後の予定>

令和4年7月11日（月）15：30～ワークショップ

（推進会：嵐田）

## ★飯塚小学校

アンケート集計 令和4年3月7日（月）10：30～

飯塚小学校では平成29年度から「子どもを守る町づくり委員会」を立ち上げています。

令和2年度は3年ごとのアンケートの年でしたが、コロナ禍の状況を踏まえ、卒業する6年のみアンケートをとりました。

令和3年度は4年から6年までのアンケートをとりました。どちらの年度もアンケート集計は最少人数で行い、密にならないように配慮して行いました。

2年にまたがった集計結果を元に今年度の委員さんたちが、ワークショップを行います。

委員会を立ち上げて6年になります。この活動が地域に根強くように飯塚小PTAには継続して欲しいと思います。（推進会：太田）



## ★松上小学校

アンケート集計 令和4年3月10日(木) 13:30～

6回目のアンケート集計になります。自転車でのあおり運転の被害があり、道路で被害件数が多かったです。

次回アンケート集計の際はコロナも収束し、PTAの皆さんの参加が増える事を願っています。

ワークショップを6月27日(月)に行う予定です。

(推進会：種市)



## 今年度の講座予定

第1・第2ステップは各学校単位で個別に開催いたします。

月 日	時 間	場 所	内 容
令和4年6月25日(土)	14:00～16:00	青戸地区センター	基調講演
令和4年11月19日(土)	14:00～16:00	青戸地区センター	実行計画の進め方
令和4年12月10日(土)	14:00～16:30	青戸地区センター	関係行政機関との懇談
令和5年2月4日(土)	14:00～16:30	青戸地区センター	子どもの安全を考えるつどい&取組団体報告会

### 20周年記念事業記録集を作成しています

20周年記念事業は何にしようかと推進会メンバーで内容を検討していました。『10年前に活動していたPTAの方と座談会をしようか。』『活動してきた形跡をリーフレット化してみようか。』と様々な意見が出ました。しかし、コロナによる緊急事態宣言が発動され自粛生活が始まり、推進会の活動もできなくなりました。そんな中、記念事業の内容も再検討していく事になりました。コロナ禍でも私たちが出来る事もあるはずです。中村先生のご指導を頂きながら20周年の節目に過去検証してきた箇所を振り返り、これまでの取組をまとめた学校別の記録集を作成することになりました。

ここ数年振り返りをやってこなかった為、随分と変わってしまった所や、既に無くなっている場所もありました。そんな場所を過去のデータを見ながら、出来る範囲で現状の確認をしました。今まで活動して来た場所もあれば、一度しか行われていない場所もありました。現場検証をした後の資料をどのようにまとめていくかが難しく、打合せもあまりできない状況での作業でした。個人個人が試行錯誤しながら纏めましたので時間がかかってしまいました。そんな悪戦苦闘の状態でしたが、生涯学習課の方にも協力して頂き、完成間近です。製作後は各学校・PTAに配布いたします。

今回作成いたしました記録集は情報を定期的に更新していきますので、今後の活動の参考にして頂けますと幸いです。コロナ禍だからこそできた、振り返りかもしれません。皆さんよろしくお願い致します。

## 児童・生徒向けアンケート説明動画作成

子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進會會長 餌取 愛子

「子どもを犯罪から守るまちづくり活動」は、子どもたちが犯罪に遭わずに、安心して過ごせるように、地域の大人たちが手をつなぎ、安全な町や地域にしていくまちづくり活動です。

平成22年度に「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動の推進・普及を目的に青少年委員 OB や PTA の OB などが集まり「子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進會」を発足しました。平成24年度からは生涯学習課との共催で講座等の支援事業を実施してきました。マニュアル本やテキスト作成、ステップ毎の説明を DVD にし講座などで使用してきました。

この活動の具体的な流れは、3つのステップからなっています。

第1ステップでは、子どもたちからアンケートを取り、子どもの犯罪被害の実態を明らかにします。第2ステップでは、アンケート結果に基づき、大人が実際に危険な箇所を見に行き改善策を考えます。第3ステップでは、改善策をもとに区や警察などと相談し、PTA、地域の方々の協力をいただき改善活動を行います。

第1ステップのアンケートを取るには学校の協力が必要です。学校側をお願いして教師が配布したり、PTA の担当者が直接教室に出向いて口頭で丁寧に説明したりします。教師をお願いする時は、事前に教職員會議等できちんと説明しておきます。アンケートはできるだけ多く回収したいです。そのためには、趣旨を理解してもらうことが必要ですが、コロナ禍で十分な説明ができない現実がありました。

今回東綾瀬小学校の先生より、アンケート配布にあたって統一した注意事項説明 DVD があるといいですねとの要望がありました。そこで今回生涯学習課と協力して、次の4点に注意して子どもたちが見て分かるように作成しました。

- ① 調査の目的、取り組む主体
- ② その場で記入せず帰宅後記入すること
- ③ 今は答えたくない人は記入しなくていいこと
- ④ 記入した中身についてはプライバシーの保護に配慮していること

この DVD は、これからアンケート実施する際に活用いただき、今後の参考にするために活用後ご意見等がありましたらお知らせください。

この20周年の節目に、アンケート説明動画を作成できたこと、20年間に取り組んできた団体のまとめをすることができたことは、これまでの反省と、多くの地域の方の思いと、今後の広がりを感じることができました。20周年にご寄稿いただきました沢崎俊之様、何時も私たちを見守りご指導いただきました中村攻先生に感謝申し上げます。30周年に向けて子どもたちが安心して安全に過ごせるまちづくり、地域の大人が力を合わせ、誰でもが取り組める活動を続けていきたいと思ひます。

